



平田 昇議員

過ちを認めよ

町長／意図的に情報操作された

平田 県町村会に提出した町長経歴の虚偽を証明する謄本を渡した。町長は受け取るとき、調べると云ったが結果はどうだったか。

町長 法律事務所を通して調べたが、相当の事実誤認があります。情報の操作であります。代議士の秘書以来、会社の取締役になった事実はありません。大多数の町民は私を信じています。すんだことは云わず町づくりを考えよという町民の良識を心強く思います。

か 公の施設とは何か

町長／既に何回も答弁した

平田 公の施設で宴会、カラオケ、飲み放題等の営業は、行政の道を外れている。県も指摘していることだ。誤りを正し、原点に戻れ。

町長 この問題については、何回も質問が出て答弁もしているの、もうこれ以上答弁は必要ないと思います。

公の施設

住民の福祉を増進する目的をもって住民の利用に供するため地方公共団体が設ける施設（公園、図書館、集会所など）



指定管理者による管理運営が始まった「あび～る館」

宮之城高等学校跡地利用は

町長／早急に検討を進める



新改秀作議員

新改 平成19年3月で、閉校となる宮之城高等学校の跡地利用をどのように考えているか。

町長 旧宮之城町で活動委員会を設置し、検討され、宮之城中学校の移転先として活用していくことが最も適当であるとの報告があり、今後、町立学校として進めたときの問題点等について、検討していただくよう申し出を行っているところです。

小・中学校の現状と今後

教育長／少数、複式指導の充実

新改 小・中学校の生徒数の今後の推移はどうか。また、生徒数の減少も含め、適正な規模、配置、施設整備の検討はどうか。



平成19年3月で閉校となる宮之城高等学校

教育長 平成24年度には、小学生、中学生の数がそれぞれ約15%減少する見込みです。少数、複式指導は重要な教育課題です。空き教室利用や適正規模配置については、公民会再編も考慮し、地域住民とも十分検討していきます。校舎の耐震化優先度調査も検討しています。